

学 会 記 事

第10回研究報告全国大会

第10回研究報告大会は1989年11月11～12の両日、立命館大学国際関係学部（西園寺記念館）で開催された。共通論題が「1992年 EC 市場統合と日本」であったため、報告者もフロアーの参加者も熱が入り、特に討論のところでは発言が非常に多く、あとで討論をテープ起こしするのに苦労した。

特別報告としてヨーロッパ大学学長の Emile・NOEL 教授から長年の EC 委員会事務総長としての体験を背景にした示唆に富むスピーチがなされた。ノエル学長は日本 EC 学会創立10周年を記念して、学会が特にお招きして来日された。又第1日目には“EC Studies Today”と題して EC 委員会の広報・情報・文化政策総局大学担当局長ジャックリーヌ ラストヌーズ女史による EC 研究の国際的交流の促進についての特別報告も行われた。大会第1日目の夕刻には創立10周年を祝うパーティがノエル学長、京都の財界、大学関係者の列席を得て、盛大に催された。

今回のプログラムは以下の通りであった。

《プログラム》

第1日（11月11日）

午前の部（10時～12時15分）

司会者 香西 茂（京都大学）

(1) EC 域内貿易における技術的障壁 小室程夫（防衛大学校）

(2) 男女労働者間の無差別原則に関する欧州共同体（EC）裁判所の諸判例

小城 剛（拓殖大学）

総会（12時15分～12時30分）

昼食休憩（12時30分～13時45分）この間理事會

午後の部（13時45分～15時45分）

司会者 細谷千博（国際大学）

(3)92年をめぐる日欧パーセプション・ギャップ

——欧州各界指導者50名をインタビューして——

澤田マルガレーテ（八千代国際大学）

(4) EC 域内市場統合の政治的意識と課題

鴨 武彦（東京大学）

特別講演（15時50分～17時）

紹介 山手治之（立命館大学）

The Prospects for Europe —— 1992 and After

エミール・ノエル（ヨーロッパ大学学長）

懇親会（18時～20時）

10周年記念祝賀会 於 都ホテル（電話 075-771-7111）

第2日（11月12日）

午前の部（10時～12時）

司会者 島野卓爾（学習院大学）

(1)貿易構造からみた EC 産業競争力の変化 黒岩達男（国際経済研究所）

(2)1992年 EC 市場統合と日本の対欧直接投資

箱木真澄（福島大学）

昼食休憩（12時～13時15分）この間理事会

総会（13時15分～13時30分）

午後の部（13時30分～17時）

(3) The European Communities' Internal Market and Japan's Response

エルアグラ・アリ・M（福岡大学）

(4)全体討論

共同司会者 細谷千博（国際大学）

島野卓爾（学習院大学）

香西 茂（京都大学）

日本 EC 学会10周年記念祝賀会

式次第

1. 開会の辞

2. 挨拶

3. 乾杯

4. スピーチ

立命館総長

EC 委員会代表

駐日 EC 委員会代表部大使

同志社総長

京都市長

EC 学会代表

5. 閉会の辞

役員の変更

1989年は役員の変更年でもあり、役員に若干の移動があった。理事長は同志社大学の内田教授から立命館大学の山手教授に変わった。役員のリストは巻末に掲載の通りである。

海外の学会および大学との交流

海外の学会および大学との交流

日本 EC 学会では、海外の EC 関連学会および大学との間で相互の交流を深めるために、研究大会等の情報および機関誌の交換を行なっています。下記のリストは、『日本 EC 学会年報』をお送りし、交流の回答をいただいた諸機関です。会員皆様のご留学、ご出張の際にお役立て下さい。先方から研究大会の案内や機関誌が送られてきておりますので、必要な方は事務局までご連絡下さい。

Nihon EC Gakkai International Connections

European University Institute